

文化・観光・スポーツ施策について

一般質問



中右 憲利 議員
(21 政会)

問 50周年記念式典での子供達だけで演じた狂言が大変すばらしく感動した。高校生以降も狂言に関われるような仕組みづくりをしてはいかがか。例えば北条高校の課外活動として「伝統芸能研究会」のような部をつくらせ、それを母体として他の高校生等も含め、こども狂言塾とリンクし、野村萬斎さんほか、プロの狂言師の方の指導を受けられるようにできないか。

答 北条高校の魅力を高め活性化を図っていくための魅力的な提案と思います。活動方針や

指導者など、検討すべき問題もありますが、加西市の地域力を全国に知らしめ、文化を育てていくためにも、総合プロデューサーの藤田先生、こども狂言塾応援隊の皆さん、また北条高校の関係者等の意見を聞いて検討させていただきたいと思います。

問 昨年開設したアクアスカさい常設グラウンドゴルフ場の現在の使用状況について。

答 手軽にいつでもプレーできるということで大変人気があり、昨年度は大勢の方々がプレーされています。平成29年度は4月1か月だけでも45件、502名の利用がありました。

問 大勢の方がグラウンドゴルフやウォーキングに来られるが、初めての人にとっては進入路が狭くてわかりにくく、通行もしにくい。しかも入口が鋭角に

なっているので、車を切り返して入る人も多く、大変危険な状況である。早急に進入路を広げる必要があると思うがいかがか。

答 アクアスへの進入路については幅員が狭く、車両の交差が困難な状況です。今後ますます利用者がふえることが予想されますので、施設利用者の利便性・安全性の向上及び施設の機能向上を図ることが重要と考えています。進入路の道路幅幅につきましては、用地取得を含めた事業計画を立て、複数年にはなりますが、事業完了を目指して検討していきます。

■その他の質問項目

- ・ふるさと創造会議について
- ・アクアスカさい周辺の土地活用について
- ・運動ポイント事業について

子育て支援について

一般質問



深田 真史 議員
(市民連合)

問 平成24年4月、中学3年生までの医療費が無料化になって以来、5年が経過した。しかし、所得制限を設けているため、無料化対象外の子供たちがいる。所得制限による無料化対象外の子供の数、割合は。

答 加西市の場合、所得制限は保護者の所得割を合算せず、それぞれの所得割が23万5,000円未満であれば対象とし、それ以上であれば対象外としています。平成27年度のこども医療費助成

対象の子供の総数は5,600人。うち所得制限による対象外の子供の数は254人、約4.5%です。



問 仮に、所得制限を撤廃した場合、無料化に充てる費用は、いくらふえることになるか。

答 平成27年度の実績から、こども医療費の助成額は約1億5,900万円であり、所得制限を撤廃した場合、800万円程度の負担増が見込まれます。



問 こども医療費同様、子育て支援策として実施している4・5歳児の保育料無料化は所得制限がない。県の医療費助成も拡充されてきており、所得制限の撤廃に向けて考えてはどうか。

答 国や県、他の自治体の動向を見極め、加西市の子育て施策の整合性と実効性のある取り組みとして、検討していきたいと考えます。



■その他の質問項目

- ・幼保一体化について
- ・道徳の教科化について
- ・道路網の整備について